

【ご注意ください 愛犬の歯周病】

3歳以上の成犬の約80%が 歯の病気に冒されています！！

「愛犬の歯と体の関係はあまり関係がない」と思われているオーナー様も多いのではないのでしょうか？ しかしながら、歯と体の関係は、人間と同じくとても密接に関係しています。愛犬の歯周病は、歯石で歯肉が痛められ、そこから細菌が侵入し、歯を支えている組織が冒されてしまう病気です。歯周病が進行すると、歯がぐらついたり、元気や食欲がなくなったりもします。さらに、歯の周囲が化膿し、特に眼の下から皮膚を破って膿が出るような状態になることもあります。愛犬の歯周病予防のために、早い段階からの歯の検診と出来る限り毎日の歯磨きをお勧めします。

Q. 乳歯が残っていると良くないのは本当ですか？

A. 乳歯が残っていることで歯周病の原因になることがあります。乳歯が残ってしまうことにより噛み合わせに影響を与えそうな場合は、早めに乳歯を抜いた方が良いです。

Q. 歯周病が他の疾患を誘発することはありますか？

A. 歯周病が原因で細菌や微生物が体内に入り込み、血液中を流れて全身に運ばれ、様々な病気を引き起こす可能性があります。

**グリムの森ペットクリニックでは
愛犬の「歯」の病気を徹底的に
予防します！**

□特に受診を勧めている愛犬

- ・永久歯に生え換わったばかりの愛犬
- ・歯磨きを嫌がっている愛犬
- ・歯のケアにガムだけを与えている愛犬
- ・口臭が気になる愛犬

当院では歯科検診を積極的に受診して頂いて、愛犬の健康に貢献したいと考えております。また受診いただいた患者様よりご意見を伺いながら、より良いサービスを提供していきたくと考えております。**そのため、初回の歯科検診時に、愛犬の性格や特徴に合わせたオーラルケアを提案させていただきます。**

ご不明な点やご質問がございましたら、当院スタッフにお声掛けいただくか、若しくは下記まで「チラシを見て」とご連絡ください。

【グリムの森ペットクリニック】

住所／下野市下古山3-2-10

電話／0285-39-6380

